

第6回羽咋市地域公共交通協議会 会議録

日時 令和3年12月21日(火) 10時～11時30分

場所 羽咋市役所 4階 401会議室

出席者 (欠席2名)

区分	団体名等	職名	委員氏名	備考
地域住民代表	羽咋市町会長連合会	理事	中村 康德	副会長
利用者代表	羽咋市老人クラブ連合会	会長	出村 亮一	
	羽咋市民生委員児童委員協議会	事務局長	藤澤 勲	
	羽咋市各種女性団体連絡協議会	会長	河島 佳江	欠席
関係事業者	西日本旅客鉄道(株)七尾鉄道部	七尾鉄道部長	江下 喜久夫	
	北鉄能登バス(株)	取締役支配人	中野 裕信	
	羽咋タクシー(株)	代表取締役	岡澤 克也	
	(有)邑知観光	運行管理者	三井 陽子 代理:上田 -美	
国土交通省	国土交通省北陸信越運輸局	交通企画課長	玉巻 史成	
	北陸信越運輸局石川運輸支局	首席運輸企画専門官	木村 幸典	
石川県	石川県企画振興部新幹線・交通対策監交通政策課	主任企画員	島内 理名	
所轄警察署	羽咋警察署交通課	課長	館 伸一	欠席
学識経験者	金沢大学	名誉教授	高山 純一	
病院関係	公立羽咋病院	総括課長	村井 光一	
羽咋市	副市長		中田 裕之	会長
	総務部	部長	川口 哲治	
	産業建設部	部長	金山 幸富	
	地域包括ケア推進室	室長	片山 みゆき	
	教育委員会	次長	池田 博明	欠席

事務局	企画財政課	課長	山本 裕一	
		課長補佐	安達 崇	
		主事	長浦 達夫	

その他	(株)NTTドコモ北陸支社	法人営業担当課長	北川 敬嗣	
	(株)NTTドコモ北陸支社	法人営業担当主査	水野 浩伸	
	(株)NTTドコモ北陸支社	法人営業部	山川 竹玄	
	(株)計画情報研究所	主任研究員	北川 真理	
	(株)計画情報研究所	研究員	三澤 志織	

開会

欠席者・代理出席者報告

1. 会長あいさつ

(略)

2. 乗合タクシー実証実験中間報告及び新年度についての議論

<資料説明>

予約制乗合交通のるまいカーパンフレット

羽咋市地域公共交通実証実験利用状況（中間報告）

（事務局案）AI を活用した乗合交通「のるまいカー」の今後の運行について

【副市長 中田会長】

質問、ご意見あるか。

【金沢大学 高山名誉教授】

乗車人数は目標の半分以下ということなので、厳しい実態をなんとか改善できればと思う。事務局の改善案はぜひ実施してほしい。資料 18、19 ページに運行事業者のヒアリングが非常に丁寧にされている。いろいろ課題が見えてきている。このヒアリングのなかで、停留所まで遠い等の課題がかかっている。本来、停留所密度が大事である。羽咋地区は停留所の数が多く密度も高い。人も多く住んでおり施設も多いことにより、このようになっていると想定される。運賃の改定をするのであれば、他の地区も増設の検討をしてはどうか。

タクシーと乗合交通を間違える人がいるということであるが、車両にステッカーを貼ってあると思うのだが、車両の横に貼っていると近くまで行かないと見えない。ライトの間等の前面に貼ってはどうか。

見えてきた課題を、2月以降にしっかり改善できたらよいと思う。

【事務局】

停留所の設置は、半径 200m で人口をカバーできるようにしている。羽咋地区は、町会が多いため、町会につき一カ所の停留所を設置しているため多くなっている。粟

ノ保地区は、るんるんバスのバス停よりも多く停留所を設置している。ただし、バス停から遠いため、設置できるか検討したい。

タクシー車両の前後左右の4カ所にマグネットで記載している。前後は「実験中」左右は「のるまいかー」と記載している。ボンネットに何か記載できるか検討したい。

タクシーと勘違いする人は、もともとはタクシーの車両を使っているため、天気の悪い日等は家の前まで送ってほしいという意見も出てくる。周知を徹底したい。

【金沢大学 高山名誉教授】

地区によって人口カバー率は違うのか。それによってサービスレベルは違ってくる。

【事務局】

地域公共交通計画協議会資料の24ページに、カバー率を記載している。地図上で円を描いて検討した。この円を基に停留所を設置した。

【国土交通省北陸信越運輸局】

運賃変更して利用者が増えた場合、本格実施の際も変更した運賃で運行するのか。継続した運行を考慮して検討していただきたい。

利用料金についてのアンケートは、データ数も少なく意見も偏っている。乗らなくなった約5人/日（るんるんバス粟ノ保コース：7.47人/日、のるまいかー粟ノ保地区：2.34人/日）がなぜ乗らなくなったのか、今の利用状況はどうか、ということ把握して改善につなげてはどうか。余裕があれば、検討してみしてほしい。

【事務局】

るんるんバスは運賃が100円であるため、代替の交通手段とすると高く感じる。タクシーの初乗り運賃の半額の300円とした。利用者が高齢の女性が多いため、300円が高く感じるのかもしれない。今回は実証実験であるため、運賃を下げて、課題を見つけないかと考える。消費者白書では、70歳以上の携帯電話の所持率が60%、80歳以上では30%と記載されている。運賃を下げることで、電話予約のハードルが課題なのかも浮かび上がると想定される。本格運行になれば、運賃について再度検討したい。

粟ノ保地区のるんるんバスを利用していたのに、AI乗合タクシーを乗らなくなった約5人/日を対象とした調査は、るんるんバスの担当課である地域包括ケア推進室に確認してみる。

【民主・児童委員協議会長】

今後、免許返納者が増えてくるだろう。そのような人へのアンケート調査の実施は可能か。

【事務局】

環境安全課が免許返納者への商品券を渡している。環境安全課を通してアンケート調査をすることは可能である。

【羽咋タクシー】

補足として、実証実験の目標のなかになるんるんバスの粟ノ保コースの改善とあったが、アンケート結果を見ると、粟ノ保地区の満足度が低い。粟ノ保地区が特殊なような気がする。

停留所の数はるんるんバスよりも増えている。利用者アンケートに100円券がついている。2回目からの利用が200円で利用できる。今後、運賃を値下げした場合、利用者は実質の金額よりも100円安い100円の金額で利用することになるだろう。

【事務局】

るんるんバスの粟ノ保コースは利用が少ない。土橋町からマックスバリュは自動車だと5分程度だが、るんるんバスでは羽咋駅まで行って、市内循環コースに乗り換えて行くことになり1時間10分かかる。時間もかかるし、便数も少ないため、粟ノ保コースの利用が少ないことが想定される。

100円の割引券がついているため、値下げ後は、るんるんバスと同じ100円で乗ることができる。それでも利用が伸びないのであれば、運賃以外の理由だと考えられる。粟ノ保コースでは倍以上の停留所の設置をしている。それでも利用が少ないのであれば、電話予約がハードルだと考えられる。

羽咋市では、コロナ禍での高齢者の外出支援として65歳以上の世帯を対象に、500円のタクシー券を10枚配布している。また、GOGOタクシーという事業で、タクシー料金1,000円以上の利用の場合に500円券として利用できる券を各世帯5枚配布している。

【邑知タクシー】

今回の実証実験の運行を引き受けた。ヒアリング以降12月に入り、新保地区や土橋地区から電話が増えてきた。利用件数もこの一週間は10件を超え、先週は20件以上の日もあった。日曜日も10件余りとなってきた。

私もオペレーターをしているが、のるまいかーを知らない人が多い。PR不足ではないか。まだ理解していない人が多いと感じる。特に高齢の方は理解が難しい。リピーターは何度も乗っている。金額だけではなく、少人数で使い方を案内することが必要である。

病院の利用が多い。オペレーターをしても小さい病院に近い停留所の希望が多い。金額を下げると、再度運行をしたときに運賃を上げることは難しいだろう。運行事業者としては、必要経費の8割の金額で引き受けている。運賃の値下げが委託費に影響してくると、継続して運行を継続することは難しくなるだろう。

【事務局】

邑知観光さんには、本当に感謝している。利用は増えてきており、多い日は27人、平均も12人となっている。高齢者には、口コミで広がっていると考え。また、最近は天候が悪いため、ご利用いただいていると想定される。PRを行うため、各地区を回った。粟ノ保地区は、るんるんバスが運行を休止するため、各町の会館や町会長の家に集まってもらう等、細やかな周知してきた。ただし、運行地区には周知しているが、運行していない地区には周知していない。地区外に住んでいる人ももちろん利用できるため、もっと周知できないか検討したい。

3. 地域公共交通計画に関する議論

<資料説明>

第5回羽咋市地域公共交通協議会 資料からの主な変更点

第6回 羽咋市地域公共交通協議会 資料

【金沢大学 高山名誉教授】

計画はしっかりとつくりあげて、実際に実施していくのだろう。158ページにPDCAを掲げているが、一番難しいのは評価することである。どのように評価し、改善するのかというところが一番重要である。KPIの指標だけで、評価はできない。どのようにするのか。

【事務局】

136、137ページに目標を掲げている。そこにいたる手段については、138ページに来年度から5か年の取組を記載している。158ページに記載されている収集データと合わせて、進捗状況の評価もしたい。

【金沢大学 高山名誉教授】

目標値はそれで充分である。目標としている136ページの公共交通利用者数、路線バスの乗客数等の評価はできるだろう。施策の評価をどうするか。実施した施策の評価をどのようにするのか。

【事務局】

138ページに施策が書かれているが、評価をしやすいものとしにくいものがある。数値で出せるものについては、できる限り把握したい。全体としての効果は、目標の数値になると考える。

【国土交通省北陸信越運輸局】

計画をつくった後に、個別の施策をどのように評価するかが大事である。個別の施策について、どのように見ていくのか。個別施策を目標値につなげるのは行政的な負

担である。メリハリをつけて考えるとよい。羽咋市は新技術の活用について重点を置いている。予算も多くつくだろうから、費用対効果をきちんと把握するとよいと思う。評価疲れにならないようにしてほしい。

新型交通（無人バス実証実験）も新型交通（タクシー）と同じエリアでの運行を考えているのか。各々の役割が重複しているかと思う。どのようにイメージされているのか。

【事務局】

147 ページにエリアが記載されている。水色の部分が、前回の協議会ではAI 乗合タクシーと記載していた。無人バスの実証実験は、小さくオレンジ色の四角で囲んである部分である。駅と市役所を結ぶ狭い範囲で考えている。AI などの新技術を活用した地域公共交通ネットワークを導入について 155 ページに記載してある。

【国土交通省北陸信越運輸局】

移動ニーズに沿った交通ネットワークを検討してほしい。

【副市長 中田会長】

事務局は出された意見について検討してほしい。

実証実験を3月末で終了すること、また、2月から料金を300円から200円に変更してほしいか。

【一同】

よい。

【総務部長】

6ヵ月の実験後に行う検討はどこで行うのか。

【事務局】

本協議会で行いたい。るんるんバスの利用者数と併せて調査分析して報告したい。

【邑知タクシー】

前回の協議会では、将来的な継続運行の話であった。今回の実証実験において運行事業者として契約の話し合いが大変であった。予算が削られることがないようにしてほしい。

【事務局】

分析検証した結果を本協議会で諮りたい。協議会に諮る前に金額についても運行事業者にはご相談したい。運行事業者が減益にならないよう、事前に相談して予算を確

保したい。

【事務局】

AI 乗合タクシーについては、今日のご意見を受けて改善したい。邑知観光さんには、これまで問題なく運行していただいている。また、当初電話予約は基本1時間前までの対応としていましたが、予約状況から判断し配車を行うというご提案をいただいている。誠にありがとうございます。玉巻さん、高山先生、ごもっともなご意見ありがとうございます。またご相談させていただければと思います。

【中村副会長】

今日はありがとうございました。約60の町会があり、粟ノ保地区と同様の問題がある。高齢化率が高い地区に対しても配慮してほしい。冬の時期の利用状況も気になる。

閉会

以上